

枚方信用金庫 ひらしんレポート

2024年 9 月期

(2024年 4 月 1 日 ~ 2024年 9 月30日)



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。この度、2024年度上半期の業績や活動の取組みなどを掲載しました「ひらしんレポート2024年9月期」を作成致しましたので、ご高覧頂ければ幸甚に存じます。

当金庫は、地域の皆さまとの共存共栄のもと、地域に根差した金融機関として、活動しております。先行き不透明な時代ではありますが、私たちは地域の皆さまの声に寄り添い、お困りごとにお応えすることで、地域の持続的な発展に貢献できるよう努めてまいります。これからも、地域の皆さまの架け橋として、役職員一丸となって業務に邁進してまいりますので、引き続き温かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

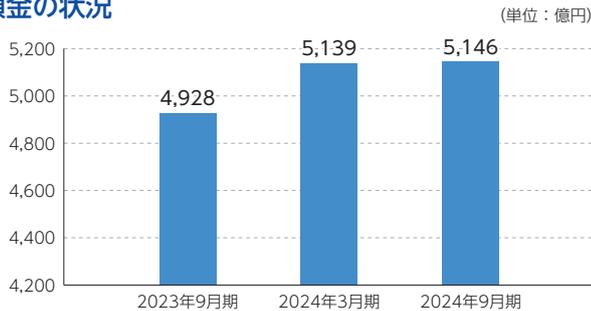
(注) 信用金庫においては中間決算制度がないため、本誌に掲載している計数につきましては、会計監査人の監査は受けておりません。なお、各計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、合計額が一致しない場合がございます。

当金庫の概要

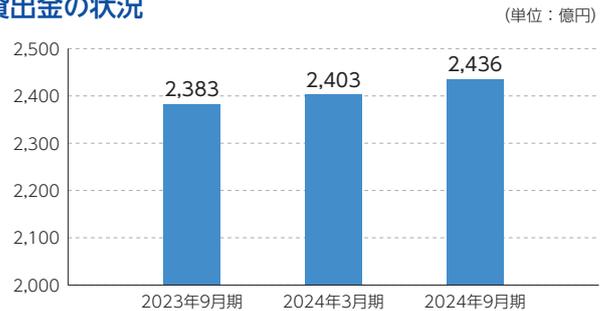
- 本部所在地 大阪府枚方市岡東町19番1号 ステーションヒル枚方17階
- 本店所在地 大阪府枚方市岡東町12番1号
- 創立 昭和25年8月1日
- 出資金 11億27百万円
- 会員数 13,427人
- 常勤役職員数 335人
- 総資産 5,500億86百万円
- 預金残高 5,146億25百万円
- 貸出金残高 2,436億15百万円
- 店舗数 20ヶ店
- 店外ATMコーナー 14ヶ所

預貸金の状況

預金の状況



貸出金の状況



貸出金の内訳

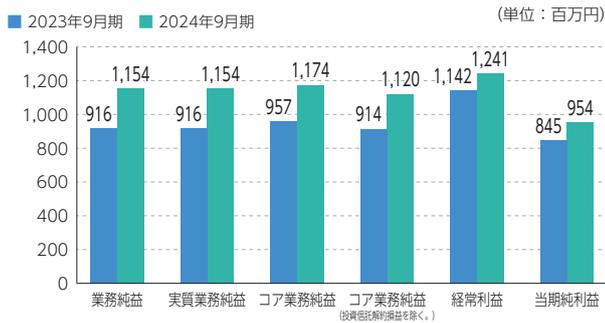
(単位：百万円)

	2023年9月期	2024年3月期	2024年9月期	増減額	増減率
製造業	9,422	9,852	9,912	60	0.60
農業・林業	10	9	8	▲1	▲11.12
漁業	—	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—	—
建設業	30,089	30,982	32,973	1,991	6.42
電気・ガス	31	79	103	24	30.37
情報通信	71	84	81	▲3	▲3.58
運輸・郵便	4,496	4,392	4,112	▲280	▲6.38
卸売・小売	15,363	15,018	15,185	167	1.11
金融・保険	6,266	5,326	5,304	▲22	▲0.42
不動産業	98,030	100,216	101,059	843	0.84
物品賃貸	1,376	1,399	1,350	▲49	▲3.51
学術研究	1,610	1,679	2,084	405	24.12
宿泊業	1,599	1,562	1,503	▲59	▲3.78
飲食業	2,960	3,332	3,737	405	12.15
生活関連サービス	4,816	4,507	4,696	189	4.19
教育・学習	403	425	403	▲22	▲5.18
医療・福祉	9,141	9,972	9,831	▲141	▲1.42
その他サービス	6,662	7,216	7,531	315	4.36
事業者計	192,355	196,058	199,879	3,821	1.94
地方公共団体	11,661	10,215	9,572	▲643	▲6.30
個人	34,360	34,053	34,163	110	0.32
合計	238,377	240,328	243,615	3,287	1.36

預金につきましては、順調に残高が増加しました。特に、個人向けは、定期性、流動性ともに増加しており、特に定期性預金は、6月より取扱いを開始した「東海道五十七次整備四百周年記念定期預金」が好評であったこともあり、前期末比50億26百万円増加の4,072億56百万円となりました。なお、預金全体では前期末比6億43百万円増加の5,146億25百万円となりました。

貸出金につきましては、不動産業に対する資金需要が引き続き堅調であったことや、その他業種へも事業支援を中心に積極的に取組んだ結果、貸出金全体では前期末比32億87百万円増加の2,436億15百万円となりました。

損益の状況



貸出金利息については、貸出金残高の増加や、利回りの上昇により、前年同月比2億円増加の23億27百万円となり、資金利益は前年同月比2億28百万円増加の29億1百万円となりました。経費につきましては、人件費の増加を主因に、前年同月比52百万円増加しましたが、前述の資金利益の増加を主因とし、当期純利益は1億8百万円増加の9億54百万円となりました。

自己資本比率

自己資本の額と自己資本比率の推移

2024年9月期自己資本比率

$$\frac{\text{自己資本の額 (282億80百万円)}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額 (2,395億51百万円)}} \times 100 = 11.80\%$$

(単位：百万円)

		2023年9月末		2024年3月末		2024年9月末	
			経過措置による不算入額		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
自己資本の額*1	(イ)	26,797		27,368		28,280	
リスク・アセット*2等の額の合計額	(ロ)	228,908		231,935		239,551	
自己資本比率【(イ)/(ロ)】		11.70%		11.80%		11.80%	

*1. 自己資本の額 …… 主に、内部留保による資本の積み上げである「利益剰余金」のほか、地域のお客さまからお預かりしている出資金等により構成されています。

*2. リスク・アセット …… 各資産項目に定められたリスクウエイトを乗じた額です。

有価証券の時価情報

その他有価証券

(単位：百万円)

種類	2023年9月末			2024年3月末			2024年9月末			
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,638	1,002	635	1,896	1,031	864	1,731	927	804
	債券	9,027	8,954	73	8,249	8,186	63	9,339	9,293	45
	国債	507	502	5	208	202	6	1,407	1,399	7
	地方債	1,005	999	6	1,605	1,599	6	1,601	1,599	2
	社債	7,514	7,452	61	6,435	6,385	50	6,330	6,295	35
	その他	12,008	11,451	557	14,140	13,212	927	11,740	11,135	605
小計	22,673	21,408	1,265	24,286	22,431	1,855	22,811	21,356	1,455	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	204	239	△ 35	134	162	△ 28	227	263	△ 35
	債券	69,314	72,103	△ 2,789	69,475	71,871	△ 2,396	71,246	74,023	△ 2,777
	国債	6,166	6,964	△ 798	6,220	6,965	△ 745	6,081	6,966	△ 885
	地方債	25,445	26,394	△ 949	25,600	26,295	△ 694	25,903	26,695	△ 792
	社債	37,702	38,744	△ 1,042	37,654	38,610	△ 956	39,261	40,361	△ 1,099
	その他	21,305	22,751	△ 1,445	19,540	20,368	△ 827	23,601	24,510	△ 909
小計	90,824	95,094	△ 4,270	89,150	92,402	△ 3,252	95,074	98,797	△ 3,722	
合計	113,497	116,502	△ 3,005	113,436	114,834	△ 1,397	117,886	120,153	△ 2,266	

※2023年9月末、2024年3月末及び2024年9月末において、「満期保有目的の債券」に該当する取引はありません。

不良債権の状況

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分		2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		1,037	1,023	948
危険債権		4,251	6,007	6,473
要管理債権		1,844	1,849	1,821
三月以上延滞債権		0	17	0
貸出条件緩和債権		1,844	1,832	1,821
小計	(A)	7,133	8,880	9,242
保全額	(B)	6,127	7,893	8,261
個別貸倒引当金	(C)	798	694	685
一般貸倒引当金	(D)	10	10	10
担保・保証等	(E)	5,317	7,188	7,565
保全率	(B) / (A) %	85.89%	88.88%	89.38%
引当率	((C) + (D)) / ((A) - (E)) %	44.58%	41.67%	41.51%
正常債権	(F)	232,426	232,533	235,144
総与信残高	(A) + (F)	239,559	241,414	244,387

◆ **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

◆ **危険債権**

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

◆ **要管理債権**

「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

◆ **正常債権**

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

本部移転のご案内

当金庫本部は、2024年9月24日に新住所（大阪府枚方市岡東町19番1号ステーションビル枚方17階）へ移転しました。

新本部は、壁を取り払い、部署間で活発なコミュニケーションが取れる空間となっており、オープンな議論ができる環境を整えています。これを機に役職員一同、お客さまのご期待にお応えするべくより一層の成長・発展に向けて邁進してまいります。引き続き変わらぬご愛顧をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



〒573-0032
大阪府枚方市岡東町19番1号
ステーションビル枚方17階
TEL 072-841-1172 (代表)

新商品のご案内等の最新情報は《ひらしん》ホームページをご覧ください

<https://www.hirakata-shinkin.co.jp/>

